

大分県森林環境税に関する、県政モニター調査結果

(調査目的)

森林環境税について県民意見を聴取し、今後の施策の参考とする。

(調査概要)

①調査対象：県政モニター（163名）

②調査方法：県政モニターあてアンケート

郵送・・・郵送にて送付、返送

メール・・・メールによるアンケート用紙送付、返信

簡易申請・・・簡易申請システムによる入力、データ出力

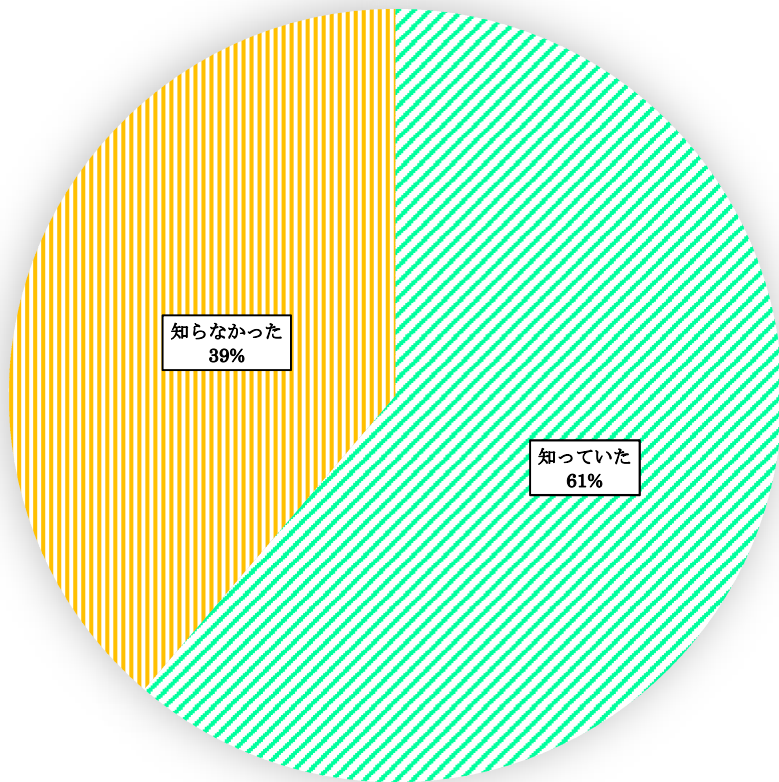
③調査時期：令和元年11月

④回答者数：80名（回答率49%）

問1

大分県内の森林の一部では、森林の手入れ不足により、森林の水源かん養、土砂流出や山腹崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能が低下している事例があります。

こうした森林の現状をご存じでしたか？

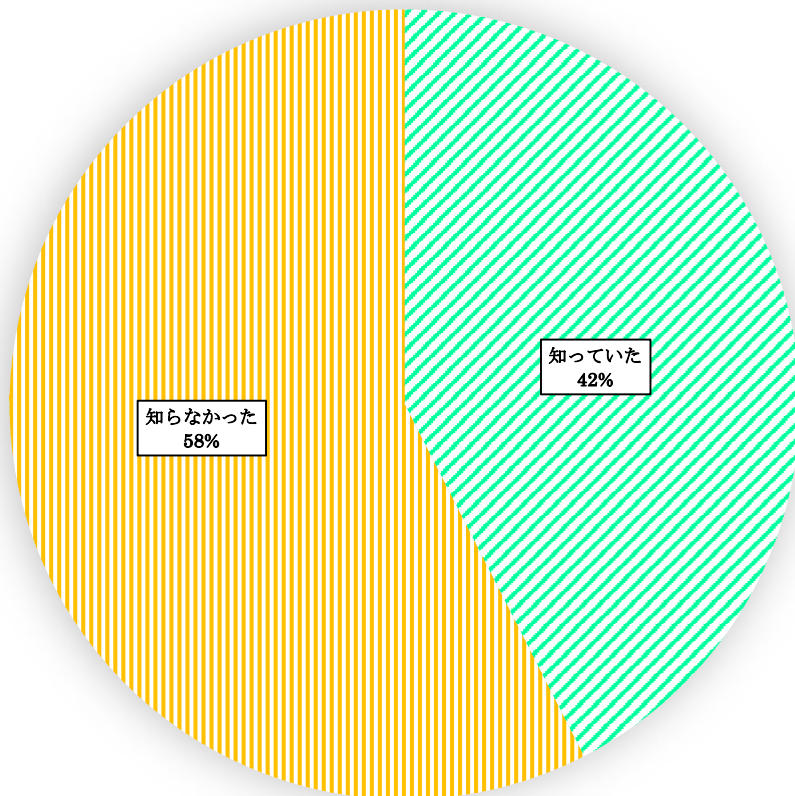


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	49	31	80
割合 (%)	61.3	38.8	100

問2

大分県では、「県民の理解と協力のもと、森林環境を保全し、すべての県民が森林を守り育てる意識を醸成する」ことを目的として、平成18年度から森林環境税を導入していることをご存じでしたか？

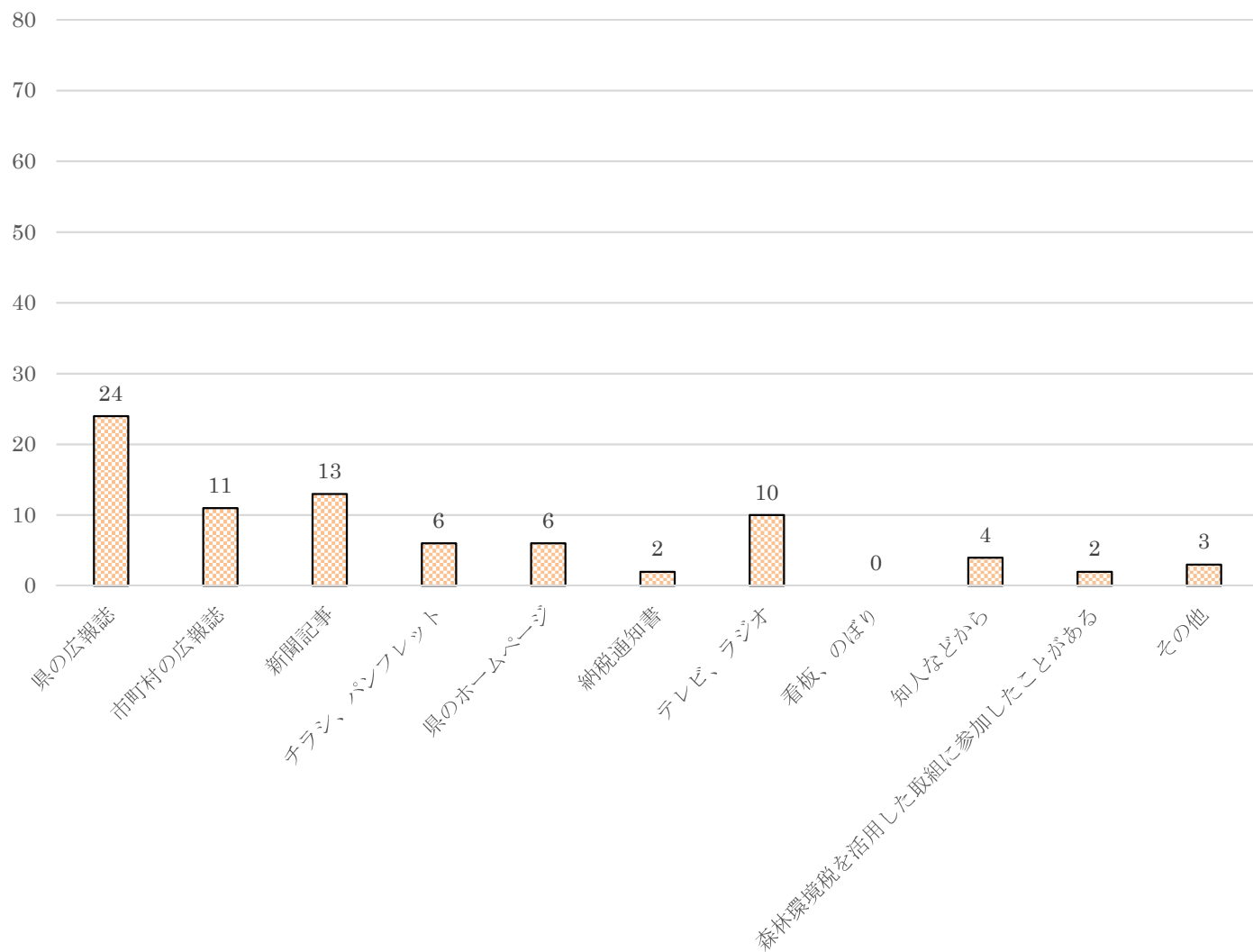


※ 未回答 0件

	知っていた	知らなかった	計
回答数 (人)	34	46	80
割合 (%)	42.5	57.5	100

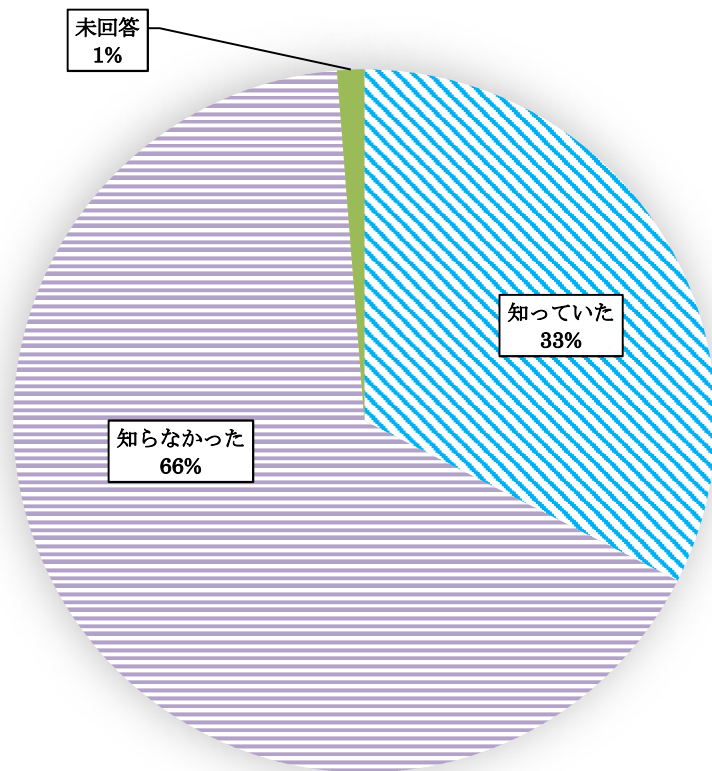
問3 問2で①「知っていた」とお答えいただいた方について、森林環境税を、なにでお知りになりましたか？（複数回答可）

(件)



問4－（1）

森林環境税として、個人から年間500円（個人県民税均等割額に加算）納めていただいていることをご存じでしたか？

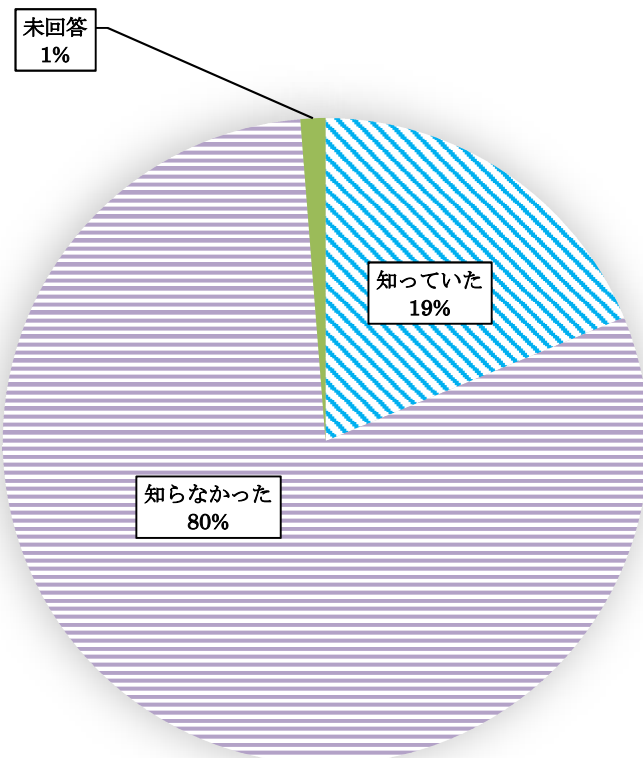


※ 未回答 1件（1.3%）

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	26	53	79
割合（%）	32.5	66.3	98.7

問4－（2）

森林環境税として、法人（企業）から法人県民税の5%（年間1,000円～40,000円）を納めていただいていることをご存じでしたか？

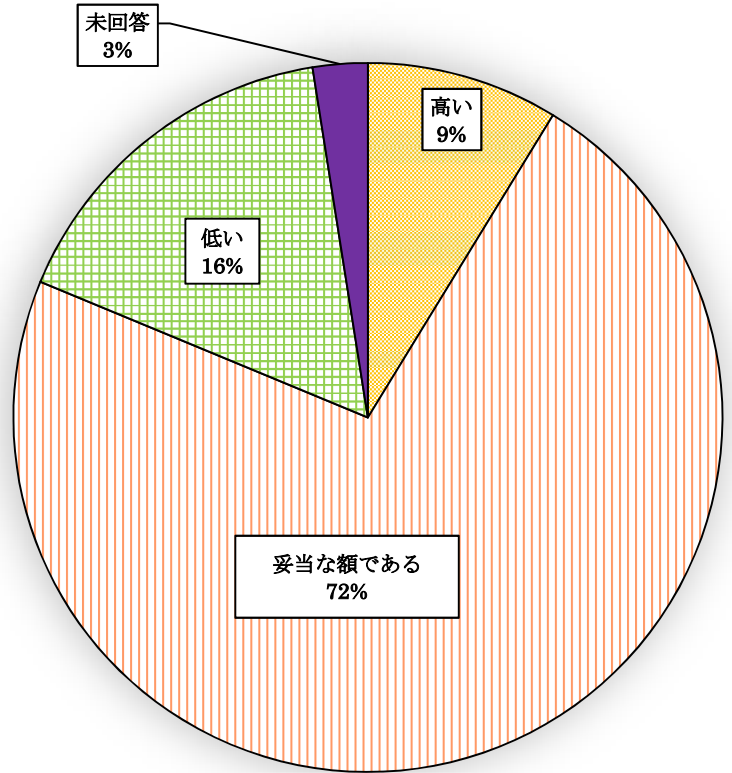


※ 未回答 1件（1.3%）

	知っていた	知らなかった	計
回答数（人）	15	64	79
割合（%）	18.8	80.0	98.7

問5- (1)

森林環境税のうち、個人からの年間500円についてどのように感じますか？

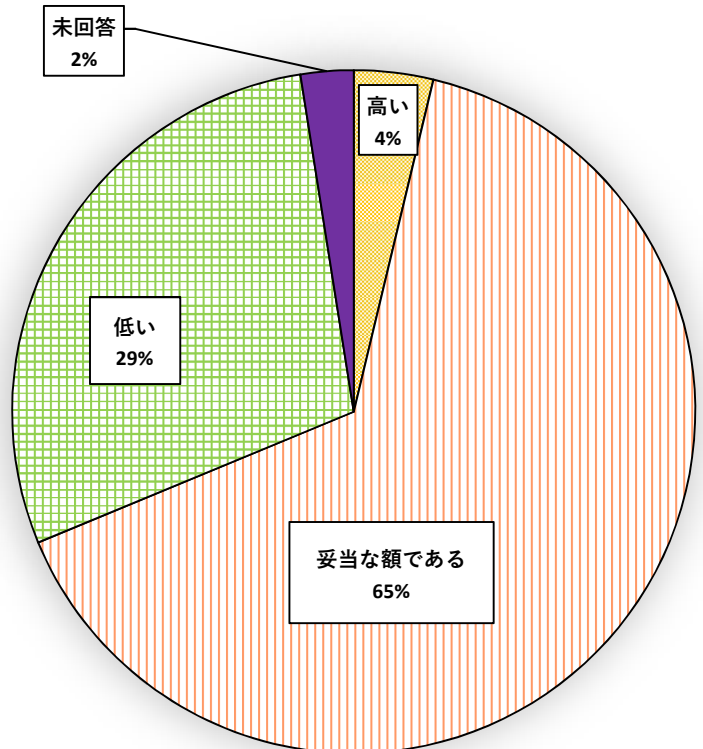


※ 未回答 2件 (2.5%)

	高い	適切な額	低い	計
回答数 (人)	7	58	13	78
割合 (%)	8.8	72.5	16.3	97.5

問5- (2)

森林環境税のうち、法人(企業)からの年間1,000円~40,000円についてどのように感じますか？

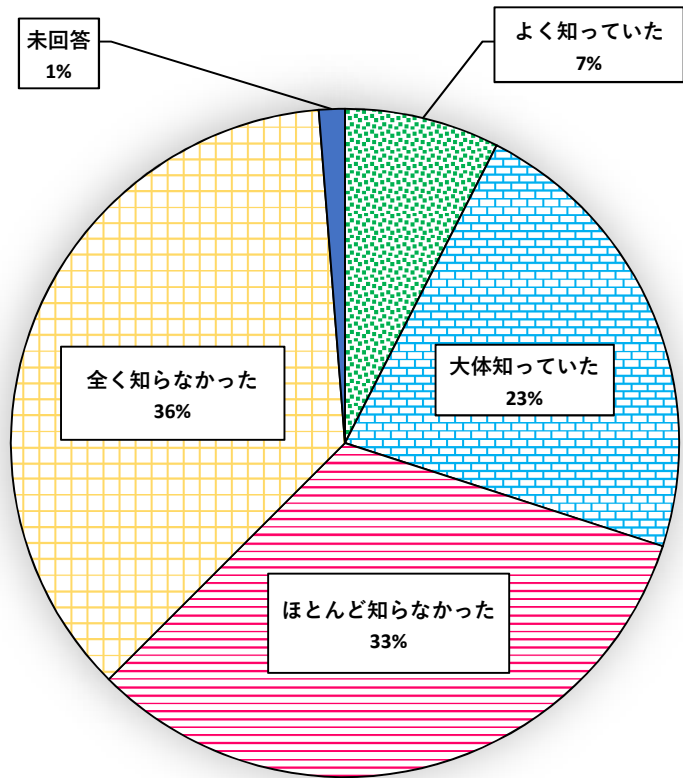


※ 未回答 2件 (2.5%)

	高い	適切な額	低い	計
回答数 (人)	3	52	23	78
割合 (%)	3.8	65.	28.8	97.5

問6

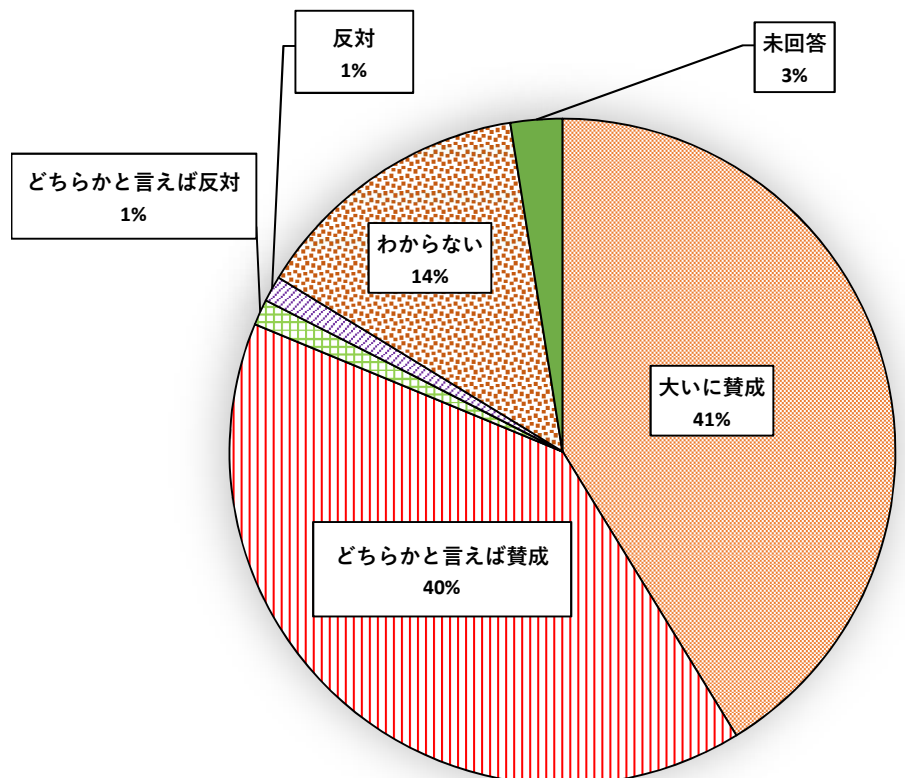
森林環境税を活用した事業をご存じ
でしたか？



※ 未回答 1件 (1. 3%)

	よく知っていた	大体知っていた	ほとんど 知らなかった	全く 知らなかった	計
回答数 (人)	6	18	26	29	79
割合 (%)	7. 5	22. 5	32. 5	36. 3	98. 7

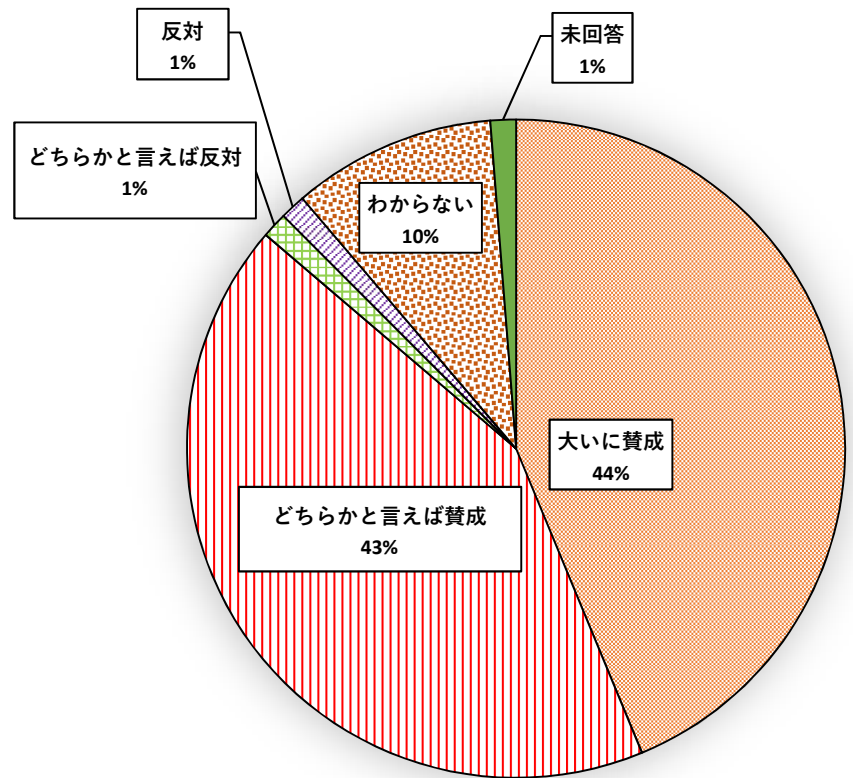
問7 森林環境税を活用した事業
について、全体としての評価をどの
ようにお考えですか？



※ 未回答 2件 (2. 5%)

	大いに賛成	どちらかと 言えば賛成	どちらかと 言えば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	33	32	1	1	11	78
割合 (%)	41. 3	40. 0	1. 3	1. 3	13. 8	97. 5

問8 森林環境税は、令和3年3月末で制度の期限をむかえますが、令和3年4月以降の森林環境税の継続について、どのようにお考えですか？

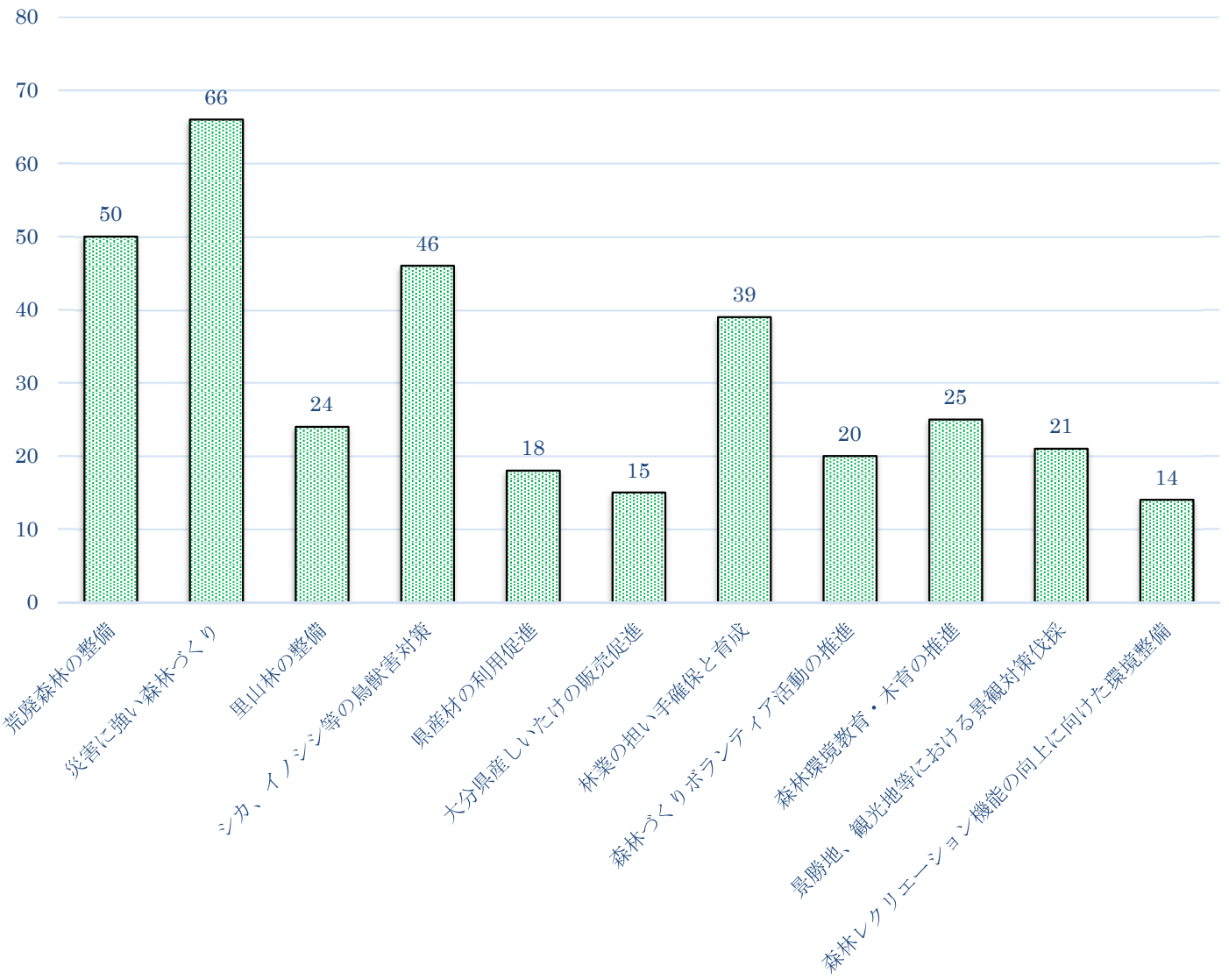


※ 未回答 1件 (1.3%)

	大いに賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない	計
回答数 (人)	35	34	1	1	8	79
割合 (%)	43.8	42.5	1.3	1.3	10.0	98.7

問9 森林環境税の用途について、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか？
(複数回答可)

(件)



問10 問9のほか、今後、森林環境税を活用した方がよいと思う取組があれば記入ください。

(**荒廃林整備、災害に強い森林づくり**)

- 今まで荒廃森林について知識がない人に広めるためのPR活動
- 荒廃地という面で見ると、所有者不明など管理のできない所もあるのでしょうか？まずは明確にして的確な処置を。
- 予想を超える雨が降ったりして、川があふれて、山が崩れているニュースを見ると、森林をもっと強くするための手入れや、区画整備を強化する人手を増やす、ボランティアに参加する機会を増やしたらどうかと思います。
- 雑木林は管理が個人では難しいです。大分も車の通りが、ここ数年多くなったと感じます。木をよけて通るのもざらですので、まずは整備の方面に使ってもらいたいと思います。
- 竹林の伐採
- 千葉県の台風被害をかんがみて大分県も県下の森林をチェックし病気にかかっていないか診断が急務と思慮。

(**里山林整備**)

- なるべく山は自然林に戻し里山を復活して欲しい。ナバや山芋、紫雁ができる豊かな山にもどしてほしい。そのためには、今ある杉山やヒノキの山をできるだけ減らす取組をすべきだと思います。
- 山に住む動物の食糧になる柿の木や栗の木等を植えたりした方が良いと思う。植樹するなら実のつくエサになる木等に力を入れると良いと思っています。
- 自然林（山・里山）を増やす活動
- 照葉樹や落葉樹の植林を増やすこと

(**林業振興**)

- 林業（伐採）の会社の人の意見を聞くことが少ない。植えて育てて伐採のサイクルを森林所有者に教えてもらう機会が欲しい。
- 索道を使わないといけない山が沢山あります。将来の森林を考えると良い杉、効果的な経済を考え、取り組みの新規計画が必要だと思います。
- 林内の作業道整備
- 出材に使う車輛購入費助成

(**地球温暖化対策**)

- 地球温暖化防止を図っていく上でも、森林環境税は利用して良いのではと思慮します。

(林産物利活用推進)

- 一般の人間は林業にどう関われるのか？森林や県産材の利用促進を通して、森林づくりの参加を促すように広報する。
- ホームセンターで県産材の販売があれば入手しやすい。県産材でのDIYコンテスト等を行ってはいかがでしょうか？
- 県産材の利用促進を目的とした、自家山で伐採した木材での新築に対し、伐採費製材費運搬費助成
- 間伐材の利用（木工製品）などそれらの販路の拡大等についての助成金として活用を考えてもらいたい。
- 県産材の輸出促進
- しいたけのほだ木になるくぬぎを雑木林に植える

(担い手対策)

- 林業の担い手確保と育成に力を入れてほしい
- 林業の後継者の育成
- 少子高齢化で山の持主も老人ホームに入ってしまう山を手入れできないところがあるのではないかと思います。調査して何とか活用できる方法があればいいと思います。
- 林業従事者の減少・高齢化対策に使ったり、森林の魅力を発信したりして欲しい。
- 山の持ち主もどんどん高齢化になり、若い人は、山に関心がないため、荒れていく山が増えていくと思います。若い人にも関心を持ってもらえるような制度作りをしていただけたらと思います。
- 樹木医の育成等

(森林レクリエーション)

- 車で山の頂上近くまでいけるように舗装道路があると、たくさんの人が山に行けると思う。
- 公園、街中に緑を多くする。
- 高齢者・子供のいこいの場所をログハウスとする。
- 森の家・体験型森林活用施設・アスレチック施設等の森をテーマにした宿泊可能な施設等があれば、子供たちにも山について興味を持ってくれるのでは。
- 森林レクリエーションのあり方、方法を各方向に問い、広げて行く手立てはないでしょうか。

(森林ボランティア・森林環境教育)

- 森林ボランティア・NPO等の活動
- 素人でもとり組みやすいボランティアがあれば広めてほしい。
- 森と川の関係を子供たちに伝える意義ありますね。

- ・ニュースにもなりましたが、森林事業について学ぶ子供たちの姿はとても感動でした。もっと事業に取り入れて、山林を未来につなぐ教育をしていただきたいです。素朴なおもちゃを作る子供たちの姿も感動でした。大人が協力できる環境づくりも大切だと思います。
- ・私が住む地域はそれこそ、山林の中の町ですし、豊かな山林が、海洋資源も育みますので、こうした面での学習をもっともっと、地域の児童生徒にしてあげたらよいと思います。

問11 その他、森林環境税についてご意見があればご記入ください。

(賛成意見等)

- ・台風、風水害による流木の片付けが迅速に行えるように。
- ・風水害による森林崩壊で家屋の倒壊や死亡事故を防ぐために荒廃森林の整備が急務と思われます。
- ・最近、森林が今までにない様な被害にあっているので、各地の荒れた所などを見直す取組に、力を入れてほしい。
- ・子供たちが森林についての学習をしているニュースを見ると、もっと理解して未来につながるために回数を増やせないかと思う。
- ・相続した人が放置している森林などへ、今後もっと支援の必要性が増え続けるかもしれないので、景観が損なわれている場所にも、環境保全支援活動が沢山いるかもしれないと思う。
- ・森林を育成管理する主体とする移住を県外から積極的に推進。そのためにも荒廃された森林を再造林していただくためにも森林環境税の補填が必要。
- ・杉(と思われる)伐採現場や運搬車両をよく目にします。時々近くの山で木を伐採した跡と思われるぽっかりと開いた光景を見ると、最近の異常気象による水災害を思い起こしてしまいます。災害に強い森林づくりの対応をお願いしたいと思います。
- ・環境税そのものについては賛成ですが、税の使われ方が適正に運用されるようお願いしたい。
- ・税金を徴収するなら有効な使い道をしてほしいです。災害対策はしっかりしてもらいたいです。

(反対意見等)

- ・環境税にはくわしくないけど、低くしていただければ、別にいろんなものにつかわれるのでなければと思います。
- ・太陽光発電で森林を切り倒しているが、やっていること(納税)と矛盾しているのではないか。伐採はやはり規制するべきだと思います。
- ・森林環境税に関する宣伝は少ないので、周りの大分出身の日本人の友達もあまり知らなかった。
- ・そのような税があったとは、全く知らなかった事に驚きを覚えました。
- ・森林環境税を勝手に取られていたことにビックリ。徴収されたものが正しく使われて払った国民に還元されるようにしてほしい

(森林環境税の認知度とPRについて)

- 使途結果を広く報告して、理解を深めることが必要です。税の使い道、知らない事が多いのは私だけでしょうか？
- 県の広報誌や市町村広報誌、あるいは地方新聞にその整備状況をお知らせし、県民の一層の理解を求めることが大切です。
- 年間税込約3億2千万円の事業使途金（年間実績）の内容がわかりにくい様にも思いますので、県の広報誌等で概要報告を希望します。
- 令和元年度より国の予算で森林環境譲与税が決定していますが、県の森林環境税との調整はどのようになるのでしょうか。
- 問9のすべてが取り組みとして必要なことだと思います。ただ重点をおくとして、今大切なことは、災害に強い森林だと考えます。
- 大分県の森林は、伐採期を迎えていると思うのですが、水害が増えているので森林再造林に注意してほしい。
- 使途がハッキリするべく県民に知らせる。県民が情報を共有し、災害に強い山とし、（ハゲ山）をなくす。
- 森林環境税の周知を図りながら企業などにも協力してもらおう。災害を食い止めることで減災を図る。県民の意識は広まっているのは確かに感じている。
- 森林環境税を知らない人が多いと思います、1人でも多くの人に関心を持ってもらえるためには、テレビラジオなどで知らせるのもいいのではと思います。
- 森林環境税について知らない人が随分いるのではないのでしょうか。より多くの一日知ってもらい多くの意見を聞くことも大事かと思う。そして理解を求め、森林に関係した事故災害を少しでも少なくする事が出来たら良いのではないのでしょうか。
- 今回初めて森林環境税を知った。県民に周知されてないと思うので、PRして、理解、協力をお願いすべきだと思う。そして、一人一人が森林に対する関心を持つべきだと思う。